

全日本剣道連盟 5 年収支計画

証憑書類番号 14

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備 考
		実績	見込	予算	計画	計画	計画	計画	
一般事業	審査登録事業収入	510,897	494,983	494,900	494,915	494,915	494,915	494,915	R2予算額で同額推移と計画
	大会・講習会収入	42,316	41,282	44,400	44,300	44,300	44,300	44,300	R2予算額で同額推移と計画
	広報事業収入	33,393	33,324	34,800	34,800	34,800	34,800	34,800	R2予算額で同額推移と計画
	普及事業収入	27,263	34,365	27,600	18,000	18,000	18,000	18,000	R元・2の特殊要因（竹刀計量器・規則改定）をR3以降控除、例年通り
	社会体育収入	20,699	24,260	23,900	26,300	26,300	26,300	26,300	社会体育講習受講者増を反映
	共通事業収入	936	1,349	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	R2予算額で同額推移と計画
	その他収入	45,235	46,982	44,470	46,585	46,585	46,585	46,585	
	事業活動収入	680,739	676,545	671,070	665,900	665,900	665,900	665,900	
	審査登録事業支出	71,480	70,336	71,080	71,080	71,080	71,080	71,080	R2予算額で同額推移と計画
	大会・講習会支出	261,784	186,903	184,000	231,500	204,300	197,100	231,500	R3、R6は世界大会支出30,000、投資収入と相殺 R3から骨太復活
	広報事業支出	31,601	30,467	30,900	30,900	30,900	30,900	30,900	R2予算額で同額推移と計画
	普及事業支出	19,514	30,201	20,500	16,000	16,000	16,000	16,000	普及事業収入を参照
	社会体育支出	19,386	19,886	19,400	20,000	20,000	20,000	20,000	社会体育事業収入を参照
	国際関係事業支出	26,514	21,320	28,700	16,700	22,700	22,700	22,700	R2は北本、成田（世界大会審判）講習を実施、R3は実施せず、R4以降は従来通り
	共通事業支出	30,484	26,742	25,900	24,900	24,900	25,900	24,900	R2予算額で同額推移と計画
管理費	152,207	137,189	136,257	125,761	123,266	122,384	123,130	北の丸及び増床分返却（▲10百万円）	
人件費	165,027	162,353	163,196	161,619	157,447	156,620	154,409	退職者補充せず又は最低限の補充	
事業活動支出	777,997	685,397	679,933	698,460	670,593	662,684	694,619		
一般事業活動収支差額	-97,258	-8,852	-8,863	-32,560	-4,693	3,216	-28,719		
重点事業	重点事業収入	0	11,980	17,000	18,000	20,000	20,000	20,000	
	普及	3,109	4,703	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	青年大会、女子委員会
	国際	6,097	4,159	6,600	5,000	5,100	6,200	4,600	試合者派遣他
	強化（世界大会直前）	0	0	43,000	0	0	43,000	0	世界大会前年強化拡充
	情報	8,314	974	800	500	500	500	500	HP改修
	重点事業支出	17,520	9,836	54,800	9,900	10,000	54,100	9,500	
重点事業活動収支差額	-17,520	2,144	-37,800	8,100	10,000	-34,100	10,500		
事業活動収支差額	-114,778	-6,708	-46,663	-24,460	5,307	-30,884	-18,219		
投資活動収入（除く資産取り崩し）	25,974	0	11,500	27,500	0	2,500	27,500	R2敷金返還収入、世界大会積立取崩収入	
投資活動支出	18,563	32,110	32,822	21,800	21,500	21,500	21,500	世界大会積立、退職給付、リース債務(R2終了)	
投資活動収支差額	7,411	-32,110	-21,322	5,700	-21,500	-19,000	6,000		
当期実質収支差額	-107,367	-38,818	-67,985	-18,760	-16,193	-49,884	-12,219		

新たな収入を得られない場合

30年度末貴金残高：合計714百万円（経営安定化196百万円、重点518百万円）

資産取り崩し収入 A	98,000	42,000	68,000	19,000	16,000	50,000	12,000	取崩合計207百万円 基金残高507百万円
うち一般経営安定化基金	98,000	42,000	30,000	0	16,000	15,500	12,000	取崩合計115.5百万円 基金残高80.5百万円
うち重点事業充当基金	0	0	38,000	19,000	0	34,500	0	取崩合計91.5百万円 基金残高426.5百万円

新たな収入を得た場合

新たな収入		0	10,000	15,000	15,000	20,000	20,000	
新収入勘案の当期収支		-38,818	-57,985	-3,760	-1,193	-29,884	7,781	
資産取り崩し収入 B		42,000	68,000	4,000	1,000	30,000	0	取崩合計145百万円 基金残高569百万円
うち一般経営安定化基金		42,000	30,000	4,000	1,000	0	0	取崩合計77百万円 基金残高119百万円
うち重点事業充当基金		0	38,000	0	0	30,000	0	取崩合計68百万円 基金残高450百万円

- ◎ 企業協賛（現状17百万円、目標20百万円）以外に新たな収入が得られない場合、世界大会強化等もあり今後15年位で、積立て資金も枯渇
新たな収入が得られた場合（目標20百万円/年）は、30年程度は積立資金維持可能 → **新たな収入源開拓が必須**
- ◎ 上記は、審査登録料が令和2年予想額が維持できるとの前提 剣道人口減少（初段登録者数の漸減）を勘案するとさらなる財務悪化の可能性も 普及のためにも資金が必要 → **現行の講習会・研修会の抜本的見直しが重要**